

企業動向調査の概要

調査時点：令和6年7月（毎年1月、4月、7月、10月を調査期として実施）

調査対象：市内企業 100社 【製造業56、建設業14、運輸業6、卸・小売業12、サービス業12】

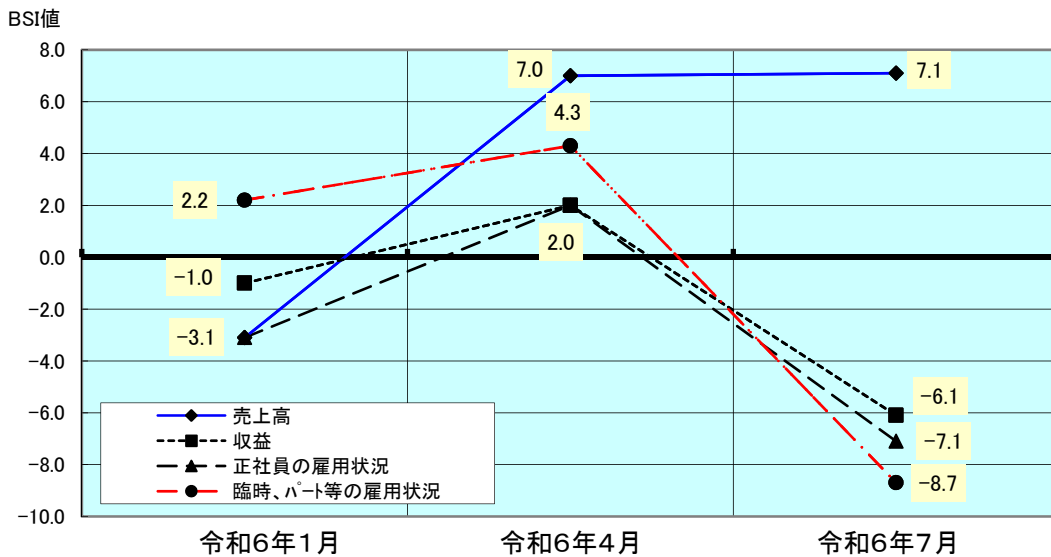
回答企業： 98社 【製造業55、建設業14、運輸業6、卸・小売業12、サービス業11】

- 回答は、前年同期比での景況感(増加、不変、減少)による。
- 《BSI値》は、「増加」と回答した企業の割合から、「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値である。

◆動向調査の結果

【全体】

- ☞「売上高」：0.1ポイント上昇し、7.1ポイントになった。
- ☞「収益」：8.1ポイント下降し、△6.1ポイントになった。
- ☞「正社員の雇用状況」：9.1ポイント下降し、△7.1ポイントになった。
- ☞「臨時、パート等の雇用状況」：13.0ポイント下降し、△8.7ポイントになった。

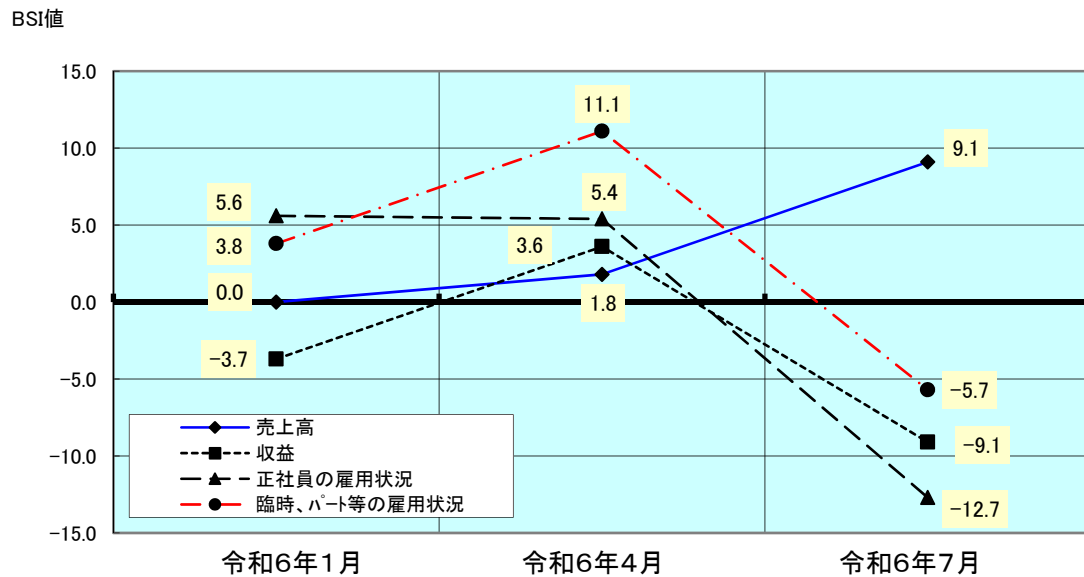


《全体の概況》

- ・「売上高」は、BSI 値が、製造業、運輸業、卸・小売業、サービス業でプラス、建設業でマイナスになり、全体ではプラスであった。
- ・「収益」は、BSI 値が、卸・小売業、サービス業でプラス、製造業、建設業、運輸業でマイナスになり、全体ではマイナスであった。
- ・「正社員の雇用状況」は、BSI 値が、サービス業でプラス、製造業、運輸業でマイナス、建設業、卸・小売業で±0になり、全体ではマイナスであった。
- ・「臨時、パート等の雇用状況」は、BSI 値が、建設業でプラス、製造業、運輸業、卸・小売業、サービス業でマイナスになり、全体ではマイナスであった。

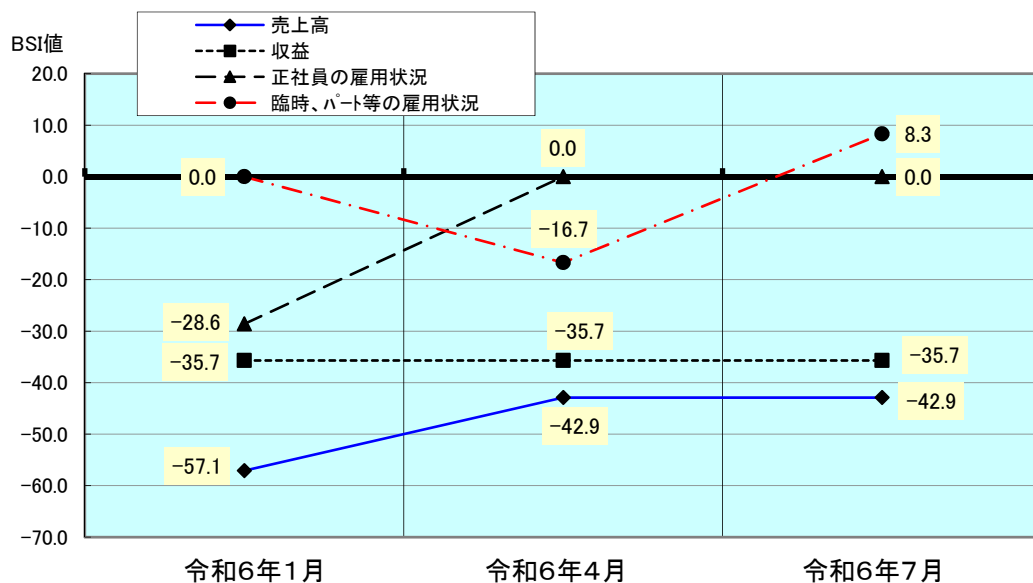
【製造業】

- ☞「売上高」：7.3ポイント上昇し、9.1ポイントになった。
- ☞「収益」：12.7ポイント下降し、△9.1ポイントになった。
- ☞「正社員の雇用状況」：18.1ポイント下降し、△12.7ポイントになった。
- ☞「臨時、パート等の雇用状況」：16.8ポイント下降し、△5.7ポイントになった。



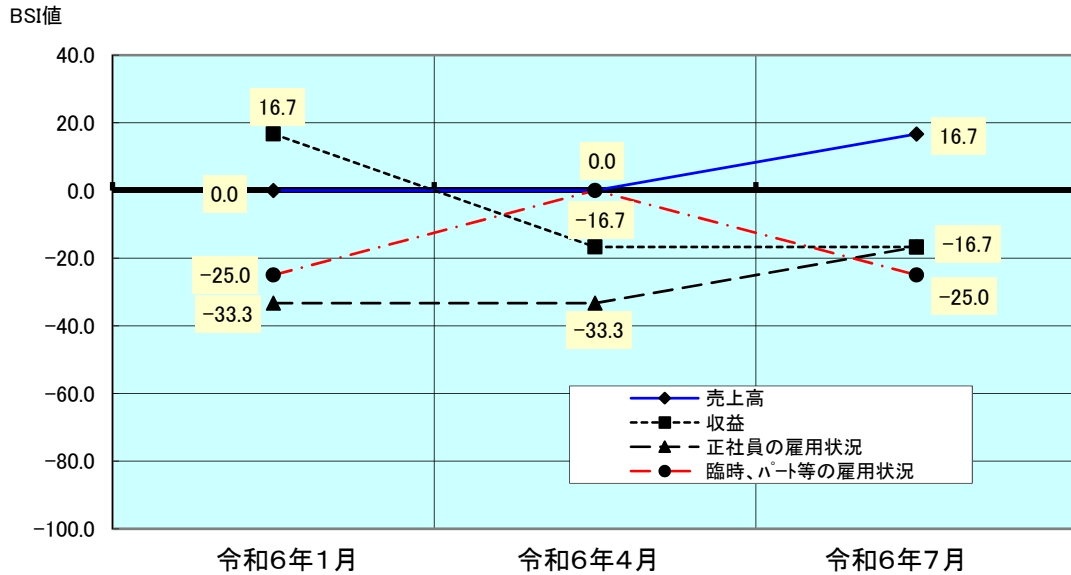
【建設業】

- ☞「売上高」：変わらず、△42.9ポイントであった。
- ☞「収益」：変わらず、△35.7ポイントであった。
- ☞「正社員の雇用状況」：変わらず、0.0ポイントであった。
- ☞「臨時、パート等の雇用状況」：25.0ポイント上昇し、8.3ポイントになった。



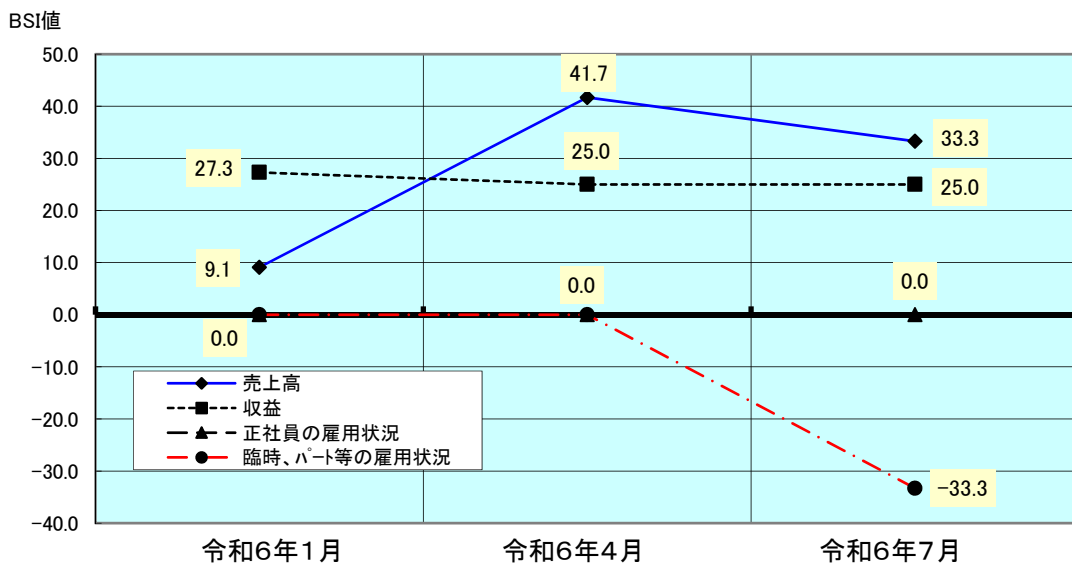
【運輸業】

- ☞「売上高」：16.7ポイント増加し、16.7ポイントになった。
- ☞「収益」：変わらず、△16.7ポイントであった。
- ☞「正社員の雇用状況」：16.6ポイント上昇し、△16.7ポイントであった。
- ☞「臨時、パート等の雇用状況」：25.0ポイント下降し、△25.0ポイントになった。



【卸・小売業】

- ☞「売上高」：8.4ポイント下降し、33.3ポイントになった。
- ☞「収益」：変わらず、25.0ポイントであった。
- ☞「正社員の雇用状況」：変わらず、0.0ポイントであった。
- ☞「臨時、パート等の雇用状況」：33.3ポイント下降し、△33.3ポイントであった。



【 サービス業 】

- ☞「売上高」：31.0ポイント下降し、27.3ポイントになった。
- ☞「収益」：6.8ポイント下降し、18.2ポイントになった。
- ☞「正社員の雇用状況」：0.8ポイント上昇し、9.1ポイントになった。
- ☞「臨時、パート等の雇用状況」：9.1ポイント下降し、△9.1ポイントになった。

